

各 位

上場会社名	株式会社 タカギセイコー
代表者	代表取締役社長 高木 章裕
(コード番号)	4242)
問合せ先責任者	取締役管理本部長 沖 孝則
(TEL)	0766-24-5522)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び2023年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,010	950	890	20	7.28
今回修正予想(B)	23,980	460	550	△270	△98.15
増減額(B-A)	△30	△490	△340	△290	
増減率(%)	△0.1	△51.6	△38.2	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	21,878	1,247	1,235	278	101.43

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,540	2,870	2,990	1,260	458.60
今回修正予想(B)	48,510	2,380	2,650	970	352.60
増減額(B-A)	△30	△490	△340	△290	
増減率(%)	△0.1	△17.1	△11.4	△23.0	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	47,332	2,650	2,671	1,006	366.42

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、世界的な半導体不足に加えて新型コロナウイルス感染症に対する中国の都市封鎖等による顧客の減産・生産調整の影響を見込むものの、当初の想定為替レートに対して円安で推移していることによる邦貨換算の増収効果もあり、概ね前回の発表数値通りに推移する見通しではありますが、損益面では、経費削減等に取り組んでいるものの上述の減収要因等の影響により、営業利益は前回発表の950百万円を51.6%下回る460百万円、経常利益は前回発表の890百万円を38.2%下回る550百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失270百万円(前回発表数値は、親会社株主に帰属する四半期純利益20百万円)の見通しとなりましたので、第2四半期(累計)連結業績予想および通期連結業績予想を修正致します。

なお、下期の業績につきましては、市場の動向、部材不足の継続や経済活動減速リスク等、多くの不透明要因があり現時点では予測が困難なことから、期初予想を据え置きとしております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性がございます。

以上